

滝沢市水道事業中期経営計画（後期）  
の案について

素案変更部分説明資料

## 素案変更部分整理表

1	ページ数等	7ページ、表中	
	変更項目	財政の健全化・適正な水道料金の設定の進捗状況及び主な取組内容・達成値	
	変更理由	審議会審議における料金改定の方針決定による	
	変更内容	変更前 進捗状況 評価D 30年度上下水道事業経営審議会提案予定	変更後 進捗状況 評価B 適正な水道料金設定の内容を含む上下水道事業経営審議会からの答申受理
2	ページ数等	24ページ、中段	
	変更項目	(2)貯水槽水道の管理指導の達成すべき状態	
	変更理由	審議会審議における意見の反映	
	変更内容	変更前 	変更後 ②の2022欄に、指導率100%
3	ページ数等	32ページ、下段	
	変更項目	(2)財政基盤の強化[達成すべき状態]③	
	変更理由	審議会審議における意見の反映	
	変更内容	変更前 道路改良や下水道事業と工事調整によりコストが削減されている。	変更後 道路改良や下水道事業と工事調整したり、契約方法の検討・改善が行われ、工事コストが削減されている。
4	ページ数等	33ページ、上段 表	
	変更項目	スケジュール表	
	変更理由	審議会審議における意見の反映	
	変更内容	変更前 	変更後 ③の2022欄に、コスト縮減額検証 ⑤の2022欄に、経費削減額検証
5	ページ数等	39ページ、表中	
	変更項目	財政の見通し 給水収益ほか	
	変更理由	審議会審議における料金改定の方針決定による	
	変更内容	変更前	変更後 別表1のとおり
6	ページ数等	40ページ、表中	
	変更項目	目標とする指標	
	変更理由	審議会審議における料金改定の方針決定による	
	変更内容	変更前	変更後 別表2のとおり
7	ページ数等	41ページ、42ページ 表中	
	変更項目	施策別目標値	
	変更理由	22ページから35ページまでの修正に伴う平成34年度目標値の修正、ページの整合	
	変更内容	変更前	変更後 上記2～4の修正に伴う修正、資料省略

## 別表1

## (2) 財政収支シミュレーション

## 財政の見通し

(単位:百万円)

区 分	H31	H32	H33	H34
①水道事業収益	1,028	1,097	1,089	1,084
うち給水収益	844	915	913	913
うち長期前受金戻入益	88	89	89	89
②水道事業費用	899	891	891	886
うち減価償却費	391	390	396	394
うち支払利息	34	32	31	30
③差引 (①-②)	129	205	201	203
④資本的収入	73	84	139	133
うち企業債	50	60	110	100
⑤資本的支出	618	624	700	614
うち建設改良費	488	489	554	484
うち企業債償還金	130	135	146	130
⑥資本的収支不足額 (④-⑤)	545	490	571	521
企業債残高	2,186	2,111	2,075	2,045

資本的収入が資本的支出に不足する額は、減価償却費、減債積立金、建設改良積立金の内部留保資金及び消費税及び地方消費税資本的収支調整額により補てんします。

## 別表2

## 8 目標とする指標

区 分	指 標	説 明	平成26年度	平成30年度	平成34年度
安心・安全	塩素臭から見たおいしい水達成率（％）	残留塩素濃度から見た、管理目標達成率（0.4ミリグラム/リットル以下）	75.0	100.0	100.0
	地下水率（％）	水源、利用水量のうち地下水の割合。	95.0	98.0	98.0
安定・強靱	有収率（％）	年間有収水量を年間配水量で割ったもの。なお、有収水量にはメーター不感水量 ⅔考慮している。	90.1	91.0	92.0
	配水池貯留能力（日）	一日平均配水量の何日分が配水池などで貯留可能であるかを表しており、給水に対する安全性、災害・事故等に対する危機対応性を示す。	0.85	0.86	0.87
	給水拠点密度（箇所/km <sup>2</sup> ）	給水区域当りの拠点数であり、緊急時の利用しやすさを表している。	8.9	8.9	10.4
	配水池耐震施設率（％）	耐震対策の施されている配水池容量の割合。	46.1	49.0	54.7
	管路の耐震化率【全線】（％）	管路総延長のうち耐震管の占める割合。	20.0	31.1	34.5
	管路の耐震化率【幹線】（％）	幹線管路のうち耐震管の占める割合。	17.4	26.0	27.6
環境・持続	経営資本営業利益率（％）	経営成績に対する総合的な指標であり、投下した経営資本と営業利益の関係を表す指標であり、指標は高いほど良い。	2.9	1.2	1.4
	経常収支比率（％）	収益性を見る最も代表的な指標で、この比率が高いほど経常利益率が高いことを表す。	133.0	112.1	122.9
	給水収益に対する企業債残高の割合（％）	給水収益に対する企業債残高の割合を示しており、企業債残高の規模と経営への影響を分析するための指標。	221.8	269.9	224.0
	給水原価（円/m <sup>3</sup> ）	有収水量1m <sup>3</sup> 当りについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもの。	154.3	173.2	187.0
	水道業務経験年数度（年/人）	業務は経験によってその遂行能力にも差が出るので、組織全体とすれば十分経験を積んだ職員がいることが望ましい。	4.5	6.5	7.0
	配水量1立法メートル当たり消費エネルギー（MJ/m <sup>3</sup> ）	全施設での総エネルギー消費量を年間配水量で割ったもの。	1.03	1.07	1.03

※平成30年度は決算見込み値